

科目名	国際コミュニケーション II	科目分類	☒ 専門科目群 ☐ 総合科目群		
			国際学科	☐ 必修 ☒ 選択	
			学科	☐ 必修 ☐ 選択	
英文表記	Global Communication	開講年次	☒ 1 年 ☐ 2 年 ☐ 3 年 ☐ 4 年		
		開講期間	☐ 前期 ☒ 後期 ☐ 通年 ☐ 集中		
ふりがな	みうら かおる	実務家教員担当科目		修得単位	2 単位
担当者名	三浦 薫	実施方法	☒ 対面のみ ☐ 遠隔のみ ☐ 対面・遠隔併用		
授業のテーマ	グローバルの波の中で世界では、言語だけでなく、まずはお互いの文化を尊重することの必要性が増しています。国際コミュニケーション I で日本文化の魅力や価値を学び、さらに様々な問題解決について考えながら、英語力を磨く講義です。				
到達目標	まずは海外についての視野を広げること、英語力の総復習とこれからの拡充にむける基礎作りの発展編です。				
授業概要	世界の様々な情報を得ることで、視野を広げます。 興味深いトピックを読むことを通して、4 技能を身につけます。				
授業計画					
第 1 回	Canada : Natural Beauty Abounds 英語かフランス語か				
第 2 回	Thailand : Where Culture and Fragrance Harmonize タイ文化とは				
第 3 回	Germany : Leaders in Protecting Our Environment ドイツ文化とは				
第 4 回	Turkey : Finish Up Your Coffee 人情の文化				
第 5 回	Russia : Home to the Coldest Place Inhabited by Humans 細かいことは気にしない文化				
第 6 回	Israel : A land of Tradition and Technology ヘブライ文化				
第 7 回	South Africa : The Country with II Different Names アフリカーンス語				
第 8 回	The United States: A Nation on the Road 車文化				
第 9 回	France : A place of Little Waste 効率重視の文化				
第 10 回	Bangladesh : Where Chaos and Peace Coexist ベンガル文化				
第 11 回	New Zealand : Where Native Culture Thrives マオリ文化				
第 12 回	South Korea : The Crossroads of Food, Culture and Tradition 食文化				
第 13 回	Niger : Friendly, Faces in a Dry Land 多言語文化				
第 14 回	Brazil : A Paradise for Soccer and Dance Lovers ポルトガル語の文化				
第 15 回	Sweden: time for Fika スウェーデン語の文化				
第 16 回	定期試験				
授業時間外の学習	事前に指示されている内容について予、国について予習してくること (1.5 時間) 各授業の冒頭部分で実施される小テストの準備をすること (復習 1.5 時間)				
履修条件 受講のルール	英語 I を履修していることが望ましい				
テキスト	Guess What ? ! Intercultural Surprises 南雲堂				
参考文献・資料	講義内で指示します				
成績評価の方法	試験 60% 小テスト 20% 発表 20% ※出席回数が規定に満たなかった場合及び授業料その他納入金等の全額を納めていない場合は試験を受けることができません。				

オフィスアワー	木曜 2 限、4 限
成績評価基準	秀(100～90 点)、優(89～80 点)、良(79～70 点)、可(69～60 点)、不可(59 点以下)
実務経験及び実務を活かした授業内容	
学生へのメッセージ	英語に自信の無い人も、ある人も、学ぶことが沢山あるはずです。